総務常任委員会会議録

1	日	時	令和6年9月10日(火)	9時50分～10時16分
2	場	所	安平町総合庁舎	議員控室
3	出席委員		箱崎副委員長、工藤委員、小笠原委員、三浦委員、内藤委員	
4	委員外出席		多田議長	
5	事務局		木林事務局長、石塚課長補佐	
-
-

会議の経過

(午前9時50分)

- 箱崎副委員長 定刻より10分ほど早いのですが、全員お揃いですので始めたいと思います。よろしくお願いします。
- 木林局長 それでは只今から総務常任委員会を始めさせていただきます。本委員会は定足数に達しておりますことをご報告します。
続きまして副委員長からご挨拶がございます。
- 箱崎副委員長 皆様ご多忙のところありがとうございます。本日は事件として総務委員長、工藤隆男議員の後の委員長の互選と、引き続いて決算審査特別委員会の委員長と副委員長の選任の事前協議ということでお集まりいただきましたので、よろしくお願いします。以上です。
- 木林局長 ありがとうございます。続きまして3番目の事件に入りますが議事進行は副委員長をお願いします。
- 箱崎副委員長 それでは3の事件(1)委員長の互選について議題とします。事務局の方で説明をお願いします。

○木林局長 ご説明申し上げます。まず本日の協議いただく案件ですが、事件1の総務常任委員長の互選と、(2)のその他として決算審査特別委員会の委員長と副委員長の互選、これの事前協議をお願いしたいと思っています。

それから資料には書いていないのですが、委員会の定数が6なのですが委員の数が5ということで1人欠員になっていますので、欠員の補充をどうするか。残り1年半ですので、そのままでもいいというご意見もあるかと思いますが、その辺お話をさせていただきたいと思っています。

それでは委員長の互選の関係についてご説明いたします。工藤隆男議員が逝去されまして議員の身分がなくなり、同時に総務常任委員長の職についても失っております。現在委員長は欠員となっています。委員長の互選については委員会条例、今日はコピーを添付していますが、委員会条例の第7条第2項の規定によりまして委員長、副委員長は委員会で互選するとなっていますので、この後互選をお願いしたいと考えています。なお、新たな後任の委員長の任期については残任の期間ということで本日から令和8年4月22日までということになります。互選の方法については規定がございませんので慣例でいきますと立候補、推薦の順で進めて、候補者が複数人の場合は話し合い、話し合いで決まらない場合はくじ引きという流れとなっていたと記憶しています。それらの流れも含めてご審議いただきたいと考えています。説明は以上です。

○箱崎副委員長 はい。ありがとうございます。事務局の説明が終わりましたが、質疑はありませんか。

○一同 ありません。

○箱崎副委員長 質疑がなければ、そのように進めていただいてよろしいですか。

○一同 はい。

○箱崎副委員長 それでは総務常任委員会の委員長の互選を行います。委員長に立候補される方はいらっしゃいませんか。

(工藤委員、三浦委員、箱崎副委員長 挙手)

○箱崎副委員長 只今、工藤秀一委員、三浦恵美子委員、それと箱崎が立候補しました。他にありませんか。いなければ現在3人の委員は別室で話し合いを行います。議長室でよろしいですかね。

○木林局長 はい。

○箱崎副委員長 では議長室の方をお願いします。

(別室にて協議)

○木林局長 話し合いの場は設けたのですが、後に退けないというか、話し合いは決裂というかまとまりませんでしたので、くじ引きで決めるということになりました。

○小笠原委員 いやいやちょっと待って局長、それは違うぞ。それは出て、いわゆる委員会の中で同数の場合はくじ引きだけでも、あくまでも札入れが優先だから。

○木林局長 投票ですか。

○小笠原委員 投票。

○木林局長 委員会で投票って今まではやっていなかったのですよね。

○小笠原委員 前は選ばれた時は3対3になって総務常任委員はくじ引きだったんだから。

○木林局長 新しい委員さんを決める時にはくじ引きだったのですよ。選び方なので、それは委員会の方で決めていただいていた方がいいと思いますけど。小笠原さんか

ら投票だというご意見だったので、諮られて決めていただいていたと思いますけど。

○箱崎副委員長 何かご意見は。

○木林局長 投票用紙ある。

○石塚補佐 用意はできます。

○小笠原委員 挙手でいいんじゃないですか。誰が誰にとって。別に。

○木林局長 挙手でいいですか。

○箱崎副委員長 他にご意見ありませんか。大丈夫ですか。

○工藤委員 くじが委員会での慣習であればくじ引きがいいかなと思いますけど。少数でもありますし、くじがいいかなと思っていますけど。

○小笠原委員 いやそれはね、全部したらくじになるのかってことにはならないでしょ。議長もくじなのか副議長もくじなのか、全部くじなのかってことではないしょ。それはやっぱり札入れでやってきたしょ。総務常任委員会だって札入れやって3対3だったんだから。経済はそのまま多数決の原理の中で田村さんが選ばれたしょ。

○三浦委員 前の時にね。

○小笠原委員 今回新しくなった時に、くじ引きしたわけではない。たまさかウチは3対3になったから。工藤隆男さんと三浦さんが双方降りないってことになってくじ引きになった。だから議会だって同数の場合はくじ引きだから。議長選出だって。副議長だって同数の場合くじ引きになるし。

○箱崎副委員長 他にご意見ございませんか。

○三浦委員 それは札入れでいいんじゃないですか。

○箱崎副委員長 そうなると次回のことはわかりませんが、何かのときでまたそういう事件が起きた場合には、皆さんも賛成多数ということでもよろしいですか。全て監査も含めてになりますけど。話し合いで決まらない場合は。

○小笠原委員 いや、札入れが同数になった場合だよ。

○箱崎副委員長 だからそれは全ての委員長も副委員長も含めてでよろしいですか。

○小笠原委員 それは他のところはわからないよ。だけど流れ的にはみんな札入れで決めてきたでしょ。対立した時に。その慣行を壊したのが前回だから。局長知っているけれども。多田議長も知っているけど、それはずっと話し合いできたんだって。私が入った時もみんな。でも前は違ったしよ。話し合いもへったくれもなかったでしょ数できたしよ。それはそうでしょ。議長に聞いてごらん。議長選はあったけれども他の役職は皆話し合いしてきたんだから。

○木林局長 今までの部分は慣例でやってきているので、議長はちゃんと投票っていうのはあるのですが、慣例でそれはそれぞれの委員会の中で選出の方法を必ず諮ってどれでやるかを決めているのですけど。それが慣例で、話し合いでだめなら投票でだめならくじとかって。それはその委員会で決めていけばいいと思いますけどね。慣例は崩れるのであれば。

○小笠原委員 俺たち自身だって議員仲間だからやっていただきたい人がいるから。だからこの人にやっていただきたいってのがいるから。

○箱崎副委員長 じゃあ、そのような形でよろしいですか。

○木林局長 くじ引くという方もいらっしゃるし、今までの慣例どおり挙手で投票

でという方もいらっしゃる。決を取らないとだめですよ。

○箱崎副委員長 はい。わかりました。では今までの慣例にしたがって、くじ引きだという方。挙手してもらっていいですか。

(箱崎副委員長・工藤委員 挙手)

○箱崎副委員長 では話し合いが終わらなかった場合には投票という形でやりましょうという方。

(小笠原委員・三浦委員・内藤委員 挙手)

○箱崎副委員長 以上で。

○木林局長 では、投票でやるということですので。お三方それぞれ。誰を推すか挙手で選ぶというから。誰がどこに入れたかっていうのを。

○石塚補佐 わかりました。

○木林局長 候補者3人いらっしゃいますので、どなたにするのか挙手で。挙手でよろしいですか。

○小笠原委員 いい。別になんも。

○箱崎副委員長 それでは3名の方いらっしゃいますので、1人ずつ挙手をお願いします。まず三浦議員。

(小笠原委員、三浦委員、内藤委員 挙手)

○箱崎副委員長 もう終わりですね。挙手の結果、三浦委員が委員長に決定しましたのでよろしくお願いします。それでは委員長が決定しましたので委員長と交

代します。

○三浦委員長 もう交代ですか。

○小笠原委員 そうだよ。あなたが委員長でしょ。

○三浦委員長 次、副委員長の互選ですか。

○木林局長 委員長のあいさつを行ってこんな流れで。

○三浦委員長 それが終わったら委員長、副委員長の就任あいさつという感じ。

○木林局長 副委員長の就任あいさつはないです。

○三浦委員長 ないのですか。そうですか。

○木林局長 設けてもいいですけど。

○三浦委員長 では、皆様よろしくお願ひします。

引き続きまして副委員長の互選に入ります。委員長と同じ順番で進めてよろしいでしょうか。

○一同 はい。

○三浦委員長 まず副委員長に立候補される方はいらっしゃいますか。

(箱崎委員 挙手)

○三浦委員長 いらっしゃらないですね。他にね。では箱崎委員で決定します。よろしくお願ひします。では、委員長の就任あいさつ。よろしいですか。

○石塚補佐 就任あいさつをお願いします。

○三浦委員長 皆様まだ経験不足ですが力をお貸しいただきまして頑張らせていただきますので、どうぞよろしくをお願いします。

○小笠原委員 はい。

○三浦委員長 副委員長ごあいさつは。

○箱崎副委員長 引き続きなので大丈夫です。

○三浦委員長 よろしいですか。引き続きよろしくをお願いします。

では、事件2番目のその他に入らせていただきます。決算審査特別委員会の委員長及び副委員長に関わる事前協議ということで話を進めていただきたいと思います。説明をお願いします。

○木林局長 決算審査特別委員会の委員長さんと副委員長さんですが、例年経済と総務交互でやっています、今年は総務常任委員会が順番となっています。委員長、副委員長の正式決定は議会中に休憩をとって決算審査特別委員会を作ってそこで委員会をやって委員長、副委員長を互選すると、正式に決定するとなっていますので。そこで時間省略というわけではないのですが、今日は総務常任委員の皆さんが集まりましたので、できれば事前に内諾を得られればなどということでございます。よろしくをお願いします。

○三浦委員長 説明が終わりました。では、どのような形で。話し合いですね。委員長、副委員長を決めていきたいと思いますが、どうでしょうか。

○箱崎副委員長 そのまま委員長、副委員長が決算委員長、副委員長でいかがでしょうか。

○三浦委員長 という声が出ていますが皆さん。ということは私が委員長で副委員

長という形ということが出ていますが、そういうふうになります。

○小笠原委員 いや、やりたい人が手を挙げたらいいんじゃない、最初に。私は決算委員長やりたいって人が。

○三浦委員長 じゃあまず立候補をとりたいと思います。やりたい方。

○小笠原委員 ぜひ、やってみたい人。

○三浦委員長 委員長いない。いなかったら話し合いしかないですね。どうしましょうか。

○小笠原委員 いやいや箱崎さんが言ったみたく総務常任委員会の委員長、副委員長がやるっていう手もあるけれども、私は決算委員会でいろいろ述べたいので辞退をしたってということだあってあり得るだろうし。

○三浦委員長 うん。まあそうですよね。例年私も質疑をしている経緯があるので、できれば外していただきたいと思うのですが、仕方ない時は仕方ないと思うのですが。

○小笠原委員 したらいいっしょ。

○三浦委員長 本当は外していただけると。特別会計とかの質疑とかもしたいなど思っているの。そこら辺、

○木林局長 すみません。総務常任委員会の中で小笠原さんは監査委員をやっているのだから決算委員会には入りませんので、できないことをご承知おきください。

○三浦委員長 この4人だけなのです。内藤さん1期目だから可哀想だしね。

○多田議長 どうしても質問したかったら副委員長いるから交代して質問して。

○三浦委員長 毎回そういうふうになっちゃうかもしれないけど、いいですか。

○小笠原委員 半分ずつになるかもしれないでしょ。一日目は副とか。

○三浦委員長 そんなのあるんですか。

○多田議長 構わない構わない。

○三浦委員長 そんなのあるのですか。

○小笠原委員 したいからって言えばいい。

○三浦委員長 他にいないならそうするしかないと思うけど。私委員長になったらご迷惑かけるかもしれない。

○小笠原委員 三浦さん、いいならいいんじゃないですか。議長言ったように交代してやればいいじゃないかって。

○三浦委員長 それは話し合いで。この時間帯で交代してとか。そんな感じで。いいのですか。

○木林局長 時間というより、その場所の項目のところに来て質疑があれば委員長副委員長が交代という流れになるんですよね。

○三浦委員長 やっぱりそうですよね。

○木林局長 例えば一日目が私で二日目は別の人っていうのは、一回委員長辞めたりという手続きになります。

○三浦委員長 そうですよね。

○木林局長 委員長がいるのに。

○三浦委員長 迷惑かけそう。

○内藤委員 大変じゃない。想像しただけで大変そう。行ったり来たりしないとい
けない。

○三浦委員長 そしたら例えば項目を絞ってこれは絶対に質問したいから交代して
くれっていうふうに。

○木林局長 できるのであればそうしていただいた方が。

○内藤委員 事前の打ち合わせが。

○三浦委員長 それと総括を交代してもらおうっていう。

○木林局長 細かいところは他の委員さんをお願いしたりとか。そういうやり方し
かないと思いますね。

○三浦委員長 特別会計の質疑が全くなくなるのもあれかなと思って。小笠原委員
もできないしね。そう思ったので。

○箱崎副委員長 どうしてもそのスムーズな審議に影響を及ぼすというなら、皆さ
んの賛同を得て私がやっても別に構わないと思いますけど。もしそうではない
やっぱり委員長がやった方がいいだろうっていうならそれはそれで結構。

○小笠原委員 箱崎副委員長やってくれるの。

○箱崎副委員長 小笠原さんが反対って言ったから。

- 小笠原委員 それはいいしょ。箱崎副委員長が決算委員長やってくれるなら楽でないの。
- 箱崎副委員長 そこは委員長の判断に任せます。
- 三浦委員長 箱崎副委員長が質問ある時は交代すればいいという話ですもんね。
- 小笠原委員 そう。
- 三浦委員長 その方がスムーズだっていうことであればそのように。あと他の委員さんの判断もお聞きして。どちらでもいいです私は。それならそれなりのやり方でやりますので。どうしますか結論は。
- 小笠原委員 いやいや2人で話してちゃんと。やったらいいんでない。
- 三浦委員長 どうしますか。
- 箱崎副委員長 あと事務局とも話して。それでいいですよ。
- 小笠原委員 いいんでない。
- 三浦委員長 じゃあそうしましょう。
- 箱崎副委員長 はい。
- 三浦委員長 では、その他ありますか。
- 木林局長 すみません。冒頭申し上げました総務常任委員会の定数が6人なのですが委員さんが5人ということで、残り1年半なのですが欠員1名を補充するかというお話をさせていただきたいなと思います。
- 先週経済の方の話をさせていただいたのですが、経済はもともと定数6で議長

が辞めていますので5人なのです。その中で田村さんが実質来られないという事情もあって欠員のところをどうしますかというお話をしたのですが、経済は残り1年ちょっとなので今のままいきますと。補充はしないというご判断をされていまして。

総務常任委員会もどうされるか、一回その欠員のお話をお願いしたいなということ。補充するか今のままでいいか。

○内藤委員 補充するという事は経済から1人お願いするという形になるのですか。

○木林局長 そうですね。総務常任委員会以外から入っていただく。実質、経済から入ってもらうと。

○内藤委員 じゃあ誰かが両方やるという形になるのですね。

○三浦委員長 ということなのですが、皆さんいかがですか。

○小笠原委員 いや、経済も補充しないなら同じ扱いでいいんでない。1年半しかないんだし。

○三浦委員長 他の委員さんはいかがですか。

○箱崎委員 はい。同意です。

○内藤委員 異議なし。

○三浦委員長 では補充なしということで。

○木林局長 わかりましたありがとうございます。

○三浦委員長 では以上をもちまして総務常任委員会を閉じさせていただきます。

ありがとうございました。

○一同 ありがとうございました。

(終了 午前 10 時 16 分)

会議の経過を記載してその相違ない事を証するため、安平町委員会条例第 26 条の規定により、ここに署名する。

令和 年 月 日

総務常任委員長